

産業、経済活動が発展するまちづくり

1 億 7,868 万 円

多彩な産業発展の基軸となる東駿河湾環状道路の開通を控え、観光産業と農業、商業との連携を図り、農林業の6次産業化を進めます。また、交流定住促進事業を行うほかファルマバレープロジェクトへ積極的に参加し、ビジネスマッチングに対する支援を行い雇用環境の拡大に努めます。

東駿河湾環状道路の開通に併せ、観光交通を町内に周遊させ産業振興につなげるため、観光案内板の充実を図るとともに伊豆半島ジオパークの国内認定・世界認定を推進し、観光資源として有効活用を図れる環境整備を行います。



ゆとりに満ちた豊かな人間性を育むまちづくり

30 億 9,130 万 円

豊かな心と健康な体を育み芸術・文化・スポーツに親しむ環境づくりを推進するため、小中学校における語学力の育成や、日常学習の補助、個別指導を充実するための学習支援員と、障害児の介助や学習活動の支援を行うための支援員を配置し、教育環境の充実を図ります。また文化振興の拠点である中央公民館や隣接地に建設中の（仮称）図書館等複合施設を文化センターゾーンと位置付け、青少年の健全育成や生涯学習の場として環境整備を図り、心の健康につなげていきます。

さらに文化資源である仏像群を展示する、かなみ仏の里美術館を観光拠点施設として有効活用を図ります。



町民と行政の協働によるまちづくり

22 億 8,266 万 円

持続可能なまちづくりを推進するために、町民と行政が協働したまちづくりを進めます。区長会を窓口としたブロック懇談会、町の施設や文化の理解を深めるタウンウォッチング、将来まちづくりにおける産業振興を図るため、農業文化振興会議をはじめとした町民参加のまちづくりを推進していきます。また、町民の憩いの場となるよう協働して森林の下草刈りなどを行い、自然との共生を図ります。

専門知識と経験を有する消費生活相談員と観光プロデューサーを雇用し、視野の広いまちづくりを行います。



安全で安心、快適なまちづくり

14 億 1,293 万 円

安全に暮らせる生活環境整備として、防災対策の充実を図るため災害対策用資機材の拡充を図り、山間地域の土砂災害に対する避難対策として土砂災害ハザードマップを作成します。また常備消防の体制強化を図る一方、東海地震の被害を最小限に抑えるため、住宅の耐震補強工事や耐震補強計画への助成を行います。

社会基盤整備として、市街地における歩道のネットワークの充実を図り、生活交通の安全確保のため道路整備を推進するとともに、伊豆仁田駅駐輪場の防犯対策として、防犯カメラを設置することにより生活環境の保全に努めます。



函南町の将来像（ビジョン）：環境・健康都市函南

「快適な環境で安心して暮らせるまち」実現に向けて



・この図は、総合計画の後期基本計画（平成 24 年度～平成 28 年度）の行動計画（アクションプラン）の将来像のイメージです。

6つの基本計画

健やかで生きがいのあふれるまちづくり

29 億 167 万 円

高齢者の健康・生きがいとして長寿社会を心身ともに健やかで過ごすための認知症対策や、疾病の早期発見治療を目的とした健康診断、各種がん検診、予防接種の助成を行います。また、子どもを生き育てやすい環境対策として、妊婦健診（14回）の公費負担および不妊治療費の一部助成、中学生までの通院・入院治療費の全額助成を行います。地域全体で子育てを支援するために、ホームスタート事業、ファミリーサポート事業に着手します。障害者福祉対策として福祉タクシーの利用拡大等の支援を行うとともに、誰もが利用しやすい公共交通の環境整備として函南駅のユニバーサルデザイン化を推進します。



人と自然が調和するまちづくり

15 億 4,476 万 円

地球環境保全として、大雨時における森林の保水能力を確保するための間伐事業、雨水浸透ますや雨水貯留槽の設置、太陽光発電装置の導入の助成を行います。また、庁舎内照明のLED化や庁用車のリース替えに併せた電気自動車の導入を行うなど二酸化炭素の削減に努めます。

また、公共水域の水質保全を図るため、公共下水道の整備事業への繰り出しや函南運動公園の整備を推進し、町民の健康増進に努めます。さらに美しい市街地景観をつくるため、用途地域の見直しに併せ町民協働による地区計画の導入により、賑わい環境の創出や居住環境の保全に努めます。

